



みらい通信

第74号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
発行日 平成29年 2月15日(水)

今、環境を考える講座

山と里の折り合い ―ハンターの立場から―



「今、環境を考える講座」第一回目は、1月24日、ラ・フランス温泉館にて紫波まちづくり企画様との共催で25名が参加して開催されました。今回は「山と里との折り合い―ハンターの立場から―」と題して、岩手県鳥獣保護監理員、猟友会などで指導も行っている村井直衛さんからお話をいただきました。

村井さんは50代半頃に、マタギをしていた義父が引退すると言う事で、資格を取って義父の鉄砲を譲り受けハンターになったそうです。

東日本大震災の半年前から突然沿岸に鹿がいなくなったのは、動物の予知能力ではないかと言うちょっと不思議なお話もいただきました。

岩手県内の野生動物の現状から、これからこの動物たちと共存していくためには習性を知ることが必要なこと、保護していくことだけが良いことではないことなど、興味深いお話を聞くことができました。



講演者 村井 直衛 様

次回の講座は4月ごろを予定しています。

= = 事業報告 = =

● 今年度もたくさん紫波町にきて頂きました



12/13 岩手県立産業短期大学校水沢校

今年度も多くの視察の方が紫波町へいらっしゃいました。みらい研では、循環型まちづくりの視察コーディネートのほか、昨年度からはオガールプロジェクト視察研修の「環境・循環コース」の対応もさせていただいております。

全国で注目されているオガールプロジェクトの効果や、木質バイオマスによる地域熱供給への関心が高いこともあり、今年度の当研究所の視察受け入れは過去最高の受入れ件数だった昨年を、すでに上回っております。

限られた時間内ですが視察の方々に、満足していただけるよう、頑張っていきたいと思っております。

● 全国木造住宅フォーラム

11月21,22日、「第28回全国木造住宅フォーラム」は岩手県で行われ、町産材を使用した住宅、木質バイオマスエネルギーの取り組みを行っている紫波町を会場に開催されました。当研究所がコーディネートした現地見学会へは、約70名が参加。原木供給場所として、紫波町の山屋地区の山林、原木買付場所の岩手県森林組合連合会盛岡木材流通センター、製材場所として（有）二和木材矢巾工場を、岩手県の木材の状況について見学をしました。その後、木質バイオマスの地域熱供給設備「紫波中央駅前エネルギーステーション」とその地域熱を利用した「紫波型エコハウス」、「紫波町役場庁舎」を見学しました。



● 水分小学校5年生が見学してきました



「循環型まちづくり」の取り組みを勉強しようと、2つの施設を訪問しました。けやき学園では学校などで集められた「ペットボトルキャップ」が、どのように活用、リサイクルされるのかを勉強しました。また、有機資源循環施設「エコ3センター」では、家畜の糞尿などから堆肥が作られる工程や、製材の際のおが粉やかんな屑で木質ペレットを作られる様子を見学しました。

● あいおいニッセイ同和損保(株)様より寄付をいただきました



12月27日にあいおいニッセイ同和損保様より寄付金を寄贈いただいた様子が、1月1日の岩手日報に掲載されました。



編◇集◇後◇記

(橋本) 昨年12月より事務局でお世話になっております橋本です。

まだまだ、分からない事が多く皆さまにはご迷惑をお掛けすると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

(橋浦) 今年度も残すところ、あと1ヶ月となりました。事業の報告や来年度の計画などでバタバタしております。会員の皆さんにどんどん参加していただけるよう企画していきたいので、ご意見をお待ちしております。

紫波みらい研究所 ホームページ

<http://www.shiwa-mirai.com/>

みらい通信-みらい研ブログ

<http://shiwamirai.blog75.fc2.com/>

< 業務時間 火曜日～金曜日 8:30～17:30 >